

検討項目(案)

会派名: 鷹ヶ巣会 (三河村幸雄)

項目名	具体的内容	備考
議員のたり手不足 の現状	<p>村上市市議会議員補欠選挙の結果の通り、議員のたり手不足が深刻な問題である。特に子育て世代の若者が手をあげない。報酬の低さ、市政に無関心拡大。</p>	
	<p>パブリックコメントの結果は重く受けとめる。調査会の答申、対策検討、資料等を添えることとする。今の地方議会の現状は、このように結果目と仮定すべきである。</p>	

検討項目 (案) 会派名: 鷲ヶ巣会

○ 市民と議会との懇談会の在り方について

30年度においては高校生との懇談という形で実施したが、さらに、例えば町内会や集落単位、商工業や農業に携わる組織や団体、子育て支援に取り組むグループ、各種団体の女性部会等々対象を絞って開催してはどうか。議会側も議員3、4名程度で対応できる規模で、様々な立場の市民の方があまり難しく考えずに参加していただける方法を検討しなければならない。

○ 議会活性化を協議する部会等の設置について

現在の議会改革調査研究特別委員会に代わるものとして、今後も議会の活性化を協議・検討する場が必要。常に議会の現状に問題意識を持ち、改善への取り組みの推進を図る上で必要と考える。議会運営委員会との役割分担を確認。

○ 行政視察の在り方について

先進地視察により、他自治体の取り組みを研修することは大変重要である。視察先や研修項目の十分な検討、事前の情報収集、研修内容が的確・十分に記載された報告書の作成に努めるなど、より有意義な行政視察となるよう取り組むべきである。

## 議会改革調査研究特別委員会 検討項目（案）

会派名：新政村上

### 1、委員会中継への取り組み

☆適宜、委員会の開催をインターネット中継する。

### 2、議会選出の監査委員の見直し

☆監査委員2名を民間識者からの選任にすることで、監査委員会への市民の信頼を高める。

### 3、市民と議会の懇談会の開催方法について

☆対象者、対象年代、開催地・開催会場など、もったきめ細かな開催を検討する。

### 4、議員および委員会運営の質向上に向けた取り組み

☆研修、講演などを通じ、議員、議会機能の質向上に取り組むため、研修委員会等の設置を検討する。

### 5、村上市議会基本条例の実際の運用について

☆各条、項目の運用方法をより詳細な解説などを付して明示する。

- ・例えば、第2条第3号の市政運営の監視、評価の議会としての具体的手法。
- ・例えば、第3条第1号の議員間の自由な討議の議長、委員長が進め方。

2019年6月10日

検討項目(案)

会派名：清流会

項目名	具体的内容	備考
<p>議会活動の活性化の方策としての自己評価、議会評価の見える化</p>	<p>議員報酬議論の前提としての議会活動の見える化を開始する。                      ・議員の自己評価及び議会評価の実施検討</p>	

まず初めに、一般質問のあり方を考え直す必要性を感じます。

一般質問をする議員の心理としては、自分の質問で何らかの成果を上げたいと思うのは自然なことでありますが、会派内で質問内容が重複することは事前に確認できる事であり、理事者の答弁書作成の手間も考慮し、改善すべきと思います。

また、一般質問では除雪や道路の修繕を要望する類の質問もありますが、住民から寄せられた要望を行政職員に伝える際には、まず担当課の窓口を確認し、内容を把握して上で自らが調査を実施してから質問をするべきと考えます。

それが行政側にとって難しい要望であるほど、こちらは慎重になるべきです。

つまり、論点、争点を発見、公開することは討論の広場である議会の第一の使命であり、一般質問のあり方にも当てはまるとは思います。質問のかたちで、市政の課題を提示し、論点・争点を明確にすることがまず必要であると思います。

一般質問は、質問者である議員と、答弁者である市長・執行部職員との間のやり取りではあるが、全議員と傍聴者が見つめる“神聖な討論の場”でのやり取りであるから、理解できない質疑ではいけないと考えます。

一般質問は質問者と答弁者の二者のみならず、議場に居るすべての者が課題を認識し、論点・争点を全員で共有する「開かれた対話」であるべきと考える。

1. 会派結成の趣旨、基本姿勢、目指すべき方向、実現を期する政策等を検討する。
2. 重要な政策課題についての態度、その態度を示すに至った経過や理由を明確にする。
3. 政策実現を図るにあたり、役所に働きかける手法より、むしろ議員発案の手法を重視する必要性も研究する。
4. それぞれの会派所属議員で賛否が分かれるような際は、会派内で議論を尽くし、質問の内容を一本化する。
5. 委員長や副委員長の役職のポスト配分に関しては、単に充て職ではなく適材適所となるように、改革を提起し続ける。
6. 「住民に対する議会の見える化」「政策立案（立法）機能の強化」「行政監視機能の強化」を第一に考え、議員個々でも活動における留意点を明確にするべき。